

What's New !

2023 年 12 月 26 日

教育課題研究 3 巻（2023 年）を発刊しました。

[教育課題研究 3 巻（2023 年）](#)を発刊しました。

2023 年 12 月 4 日

ひろみちお兄さん、たにぞうさんによる講演会を開催しました：教育学会

11 月 9 日、教育学部教育学会では、佐藤弘道さんとたにぞうさんによる講演会を 4 年ぶりに開催しました。約 150 人の学生と教職員が総合体育館に集まり、体操・あそびうた・親子あそび・ダンスといった実践的な内容を、実際に体を動かし汗を流しながら学びました。最初は緊張した顔で集まっていた学生も、次第にエネルギッシュなステージに惹き込まれていき、コースやゼミなど関係なく普段会う機会のないメンバーとも一緒になって遊びを楽しみました。最後は全員が笑顔で記念撮影に参加しました。



2023 年 12 月 2 日

令和 5 年度 第 2 回 社会科教育研究部会

11 月 25 日に第 2 回目の社会科教育研究部会を実施しました。今回も現場の先生をお迎えして、エネルギー環境教育の模擬授業をしていただきました。授業では、社会的課題に対して、複数の立場に分かれて議論を行いました。参加した学生の皆さんは、自分とは違った意見を持つ人を説得する難しさを体験していました。社会的課題に対して合意を形成するためには、どのような話し合い活動が必要なのか、次回の研究部会で学びを深めていきたいと思っています。



2023 年 12 月 2 日

4 年生ゼミ学生が提案授業をおこないました：数学教育ゼミ

数学教育ゼミの 4 年生学生が 明和町立下御糸小学校 4 年生と松江市立松江小学校 6 年生で提案授業をおこないました。御糸小学校 4 年生では批判的思考力に着目した授業を、松江小学校では国語・算数を融合させた授業をおこないました。



2023 年 12 月 2 日

元教育学部教授錦かよ子先生、三十三ふるさと三重文化賞を受賞

元教育学部教授の錦かよ子先生が、2023（令和 5）年「三十三ふるさと三重文化賞」を受賞されました。表彰式は、2024 年 1 月 28 日（日）三重県文化会館で開催されます。

2023 年 11 月 30 日

地域の子どもたちと横山への登山：体育運動方法学ゼミ

11 月 18 日と 19 日に伊勢市内の子どもたちと横山への登山を行いました。この企画は子どもたちを対象としたゼミ独自のプログラムです。目的としては、自分の脚で山に登って、自分だけが感じる景色を楽しむことです。

横山は志摩市にある人気観光スポット横山展望台からさらに登ったところにある標高 203m の低山です。横山展望台まではたくさんの観光客が楽しんでいましたが、そこから先を目指す人は少なく、子どもたちを「リュックと水筒をもってどこに向かうのだろう」と見つめる方が多かったです。天候にも恵まれ、子どもたちと元気に登ることができて、最高の景色を眺めました。子どもたちにとっても、学生にとっても意味のある散策になりました。

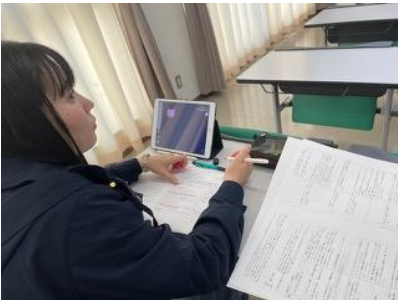
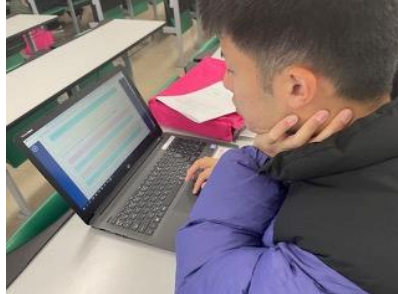


2023 年 11 月 27 日

ICT 教育特別講座：道徳と国語を実施しました!!

11 月 22 日（木）、ICT 教育特別講座が開催されました。今回は「道徳」と「国語」です。これまでの講座と同様、ICT 機器を活用して授業を実施するための効果的な方法について、実践的に学びました。

学校現場では、ICT 機器を活用した教育が常に進化／深化が続けています。それに伴って、教員として身につけておくべき知識や技能も高度なものになりつつあります。ICT 機器を活用した教育が、未来を創造する子どもたちの学びを支援する有効な方法であることを確認するとともに、そのような教育を提供することが今後の教員としての使命でもあることを認識する機会になりました。



2023 年 11 月 16 日

ICT 教育特別講座：音楽と社会でした

毎回、実践的な内容が展開されている ICT 教育特別講座。今回（11 月 15 日（水））は、音楽と社会について取り組みました。いずれの講座でも、授業に ICT 機器を活用するにあたっての一般的な留意点を確認した後、実際の授業を想定した ICT 教材の開発や使用の方法などを試行錯誤しました。ICT 教材使用の適否は、教師が設定する目標を達成するために合理的なものであるかを念頭に置くこと、また、その合理性は児童の立場から判断されるべきであることなどが考察されました。



2023 年 11 月 13 日

明和町土曜教室ボランティアに参加しました！！

11 月 11 日（土）、明和町中央公民館で開催された「土曜教室」に学生ボランティアとして参加しました。土曜教室は、土曜日の子どもの居場所作りを目的に、明和町教育委員会と協力しながら学生ボランティアが主となって企画・運営するものです。

今回の企画は“クマのカップケーキづくり”。参加者の中には初めてのお菓子作りという子どももたくさんいました。楽しく作って、おいしくできあがりました！！



2023 年 11 月 11 日

第 2 回フードパントリーを開催しました：家庭科教育ゼミ

11 月 8 日秋晴れの空が広がるもと、第 2 回フードパントリーを開催しました。

今回は中部電力パワーグリッド様から防災備蓄品のビーフシチューを、三重県防災対策部災害対策推進課様からは同じく防災備蓄品の乾パン、さらにはいつもの公益社団法人非常食推進機構様からアルファ米のご寄付を受け、それらをゼミ生が袋に詰めて約 200 人分配布しました。配布開始前からフードパントリー開催のポスターをみて駆けつけてくれた学生さんもいて、大好評のうちに終了することができました。食材をもらった学生さんたちから聞こえた声は、「助かる」というものでした。フードロスの観点から始めたフードパントリーでしたが、食材高騰が続く中、学生さんたちの生活支援として根付いている様子うかがえます。また準備には多くの時間を要しますが、家庭科教育ゼミの学生たちは学年を超えて皆で力を合わせこのイベントを成功させるため頑張っています。

しかし何よりもこの活動に理解を示し、ご寄付してくださる各団体様が見えてこの活動を続けることができます。改めてご支援に感謝するとともにこの活動の広がりが続くよう、自分たちも努力していきたいと思います。



2023 年 11 月 11 日

本学卒業生が企画した「船越神社秋まつり」に参加しました：生物学研究室・理科教育学研究室

2023 年 10 月 15 日（日）三重県志摩市の船越神社で開催された「船越神社秋まつり」に生物学研究室・理科教育学研究室合同で昆虫ワークショップを出展しました。

昆虫ワークショップでは、本物のアメンボ、メダカや川魚を水槽に放流し、走流性の仕組みやアメンボが浮く仕組みを大学生が説明をしました。参加した子どもたちは「魚によって泳ぐ向きが変わるのが不思議」、「アメンボが浮く理由がわかって面白かった」など大盛況でした。

本お祭りは本学教育学部生物学研究室的卒業生が中心となって企画された、地域の町おこしイベントです。卒業生の素晴らしい活躍ぶりに、参加した学部生は大変刺激を受けました。



2023 年 11 月 6 日

参拝見学に行ってきました：教育学部 2 年生

11 月 1 日（水）教育学部 2 年生全員で、「参拝見学」に行っていました。

参拝見学とは、本学の学問にゆかり深い地に赴いて参拝・見学し、建学の精神を体得することを目的として行われる、本学にとって伝統のあるイベントです。実質的な学校設立の歴史において核となる「伊勢神宮」をはじめとし、そのゆかりの地を巡って参拝し、関係する祭祀・文学・歴史など諸領域の知識を得ることで、皇學館大学のアイデンティティを確認します。

当日は、大学構内にて「建学の精神」を復習した後、観光バスで初めに外宮（豊受大神宮）に向かいました。外宮に到着し、ご正宮前にて拝礼後、多賀宮を遥拝しました。その後、内宮（皇大神宮）に移動し、ご正宮にて、御垣内参拝（正式参拝）を行いました。御垣内参拝を初めて行った学生の感想は、「（御垣内は）空気が違った。何か、『スツとしたもの』が感じられた」というものでした。

こうした、クラス全体でのイベント参加を久しぶりに執り行うことができて、大変良かったと思います。参加した学生には、今回体感した「建学の精神」を、今後の学生生活の中においても実践していけるような、社会有為の人材になってもらえたらと思います。



2023 年 11 月 5 日

歴史散策（伊賀市）：教育史学ゼミ

11 月 1 日（水）、澄みきった秋晴れの下、伊賀市で学外ゼミを実施。上野高等学校を訪問して、明治校舎を特別に見学させていただきました。生徒会室、憩いのスペースなどがあり、日常的に生徒が使用できることに驚きを隠せませんでした。次に、旧崇広堂〔藩校〕。講堂を中心とした文教場が保存されていますが、創建当時は鍛錬のための武道場があり、広大な敷地であったとのこと。師匠の教え方、子弟の学びや生活はどのようなものだったのかと想像が膨らみました。敷地内には彩り豊かな庭があり、眼福にあずかりました。旧小田小学校（本館）は、建物は言うまでもなく、貴重な資料の宝庫。明治半ばの色ガラス窓は稀少で、射し込む陽光がやわらかでした。そのような空間で、教科書、学籍簿、教具などの展示物に接して、学校教育を振り返ることができました。芭蕉翁記念館では、特別展の俳句を鑑賞。七夕の歌は、紀行文と趣が異なってロマンチックでした。交友関係、筆まめなところなど、俳諧師とは違った松尾芭蕉の素顔が印象に残りました。楽しい時間は、足早に過ぎていきました。本日の興味や関心を大切に、今後の学びに繋げていきたいものです。



〈明治校舎を背景に〉



〈校舎内の廊下〉



〈講堂での師匠目線？〉



〈県下最古の小学校！〉



〈授業風景〉



〈どんな音色だろう〉

令和 5 年 10 月 28 日・29 日に開催された皇學館大学第 62 回倉陵祭に、2・3 年ゼミ生が研究発表を行いました。全員が初めての経験ではありましたが、来学者の前で堂々と発表する姿はとても眩しいものでした。2 年生は身近なところのものをテーマに掲げ、ペアで探究した成果を発表、3 年生は自身の関心事にかかわる論文を 1 つ取り上げ、その内容を紹介しました。

【2 年生】

- ・新体力テストの結果が下がっている理由
- ・20 歳以上の運動実施状況
- ・カフェインと人体の関係について
- ・喫煙が及ぼす影響について
- ・スマートフォンを使うことで及ぼされる健康被害
- ・効果的な疲労回復方法

【3 年生】

- ・「石原果樹、他（2023）D X を活用したスポーツ開発プログラムの構築—組織活動活用化 & スポーツ好きの育成を目指す—、スポーツ産業学研究 33-1」を読む
- ・「高埜悠斗、他（2019）緊張時における運動と休息によるパフォーマンス向上法の検討、日本認知学会第 36 回大会発表抄録」を読む
- ・「鈴木直樹（2015）野球における投手の『オーバースロー』の構造体系に関する一考察、スポーツ運動学研究 28」を読む
- ・「中出美代、他（2021）競技力でチーム分けされた大学生アスリートの生活習慣の比較、東海公衆衛生雑誌 9-1」を読む
- ・「野田優希、他（2017）女性バレーボール競技者のポジションによる障害発生の特徴—スパイカー、セッター、レシーバーの 3 つのポジションによる検討—、理学療法科学 32-5」を読む
- ・山田快、他（2022）アスリートにとって優れたコーチの特徴、スポーツ心理学研究 49-2」を読む
- ・「野口将秀、他（2014）2012 年度全日本中学長身者選抜バレーボールの心理的適性に関する研究—競技意欲における男女差および競技不安に与える影響要因に着目して—、バレーボール研究 16-1」を読む
- ・「山口柚実、他（2021）学生スポーツ選手の競技引退に関する一考察—コロナ禍によって競技会が中止された事例—、奈良教育大学紀要 70-1」を読む
- ・「金子亜由美（2013）幼稚園における一人ひとりの育ちにに応じた指導のあり方、埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要 12」を読む
- ・久米雄（2023）女子大生における定期的な身体活動を誘発するトリガーについての調査、地域協働研究ジャーナル 2」を読む



2023 年 10 月 30 日

防災教育…防災食を作る体験：家庭科教育ゼミ

公益社団法人 日本非常食推進機構様から企業が非常食としてストックしていた食材の中で賞味期限間近なものをいつも寄付してもらい、学内でのフードパントリー開催や県内の福祉団体への配布活動を実践しています。これらの活動は、フードロスを出さない、そして食材を持て求めている人たちへの支援の意味があります。今回は寄付していただいた食材を用いて学生が指導教員から防災教育を受けた後、10 月 15 日に小畑体育館で、26 日に大学で実際に非常食を作る体験をしました。発熱剤の使用や 50 人分の食事を一度に作るキットなど、これまで知らなかった防災食の作り方に四苦八苦しながらも、“おいしく”防災食を作りました。そしてたくさんできたおむすびは、ほかのゼミ生たちにも配布しました。



2023 年 10 月 30 日

学生の活躍：プロ野球埼玉西武ライオンズから指名を受けました

10 月 26 日にプロ野球のドラフト会議が開催され、本学教育学部 4 年生の村田怜音さんが、埼玉西武ライオンズから 6 位で指名を受けました。入団が決まれば、本学初のプロ野球選手が誕生することになります。

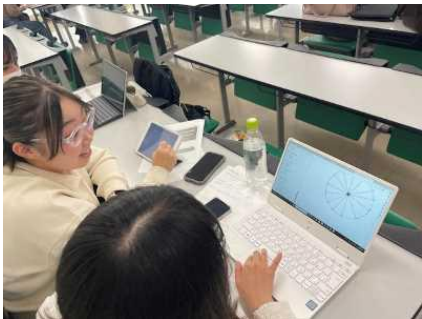
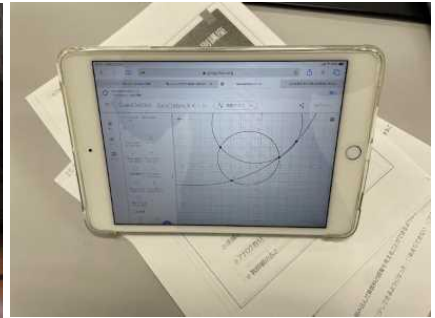
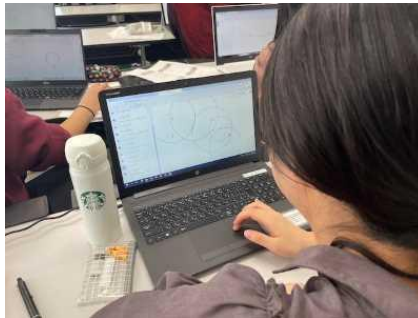
2023 年 10 月 26 日

ICT 教育特別講座が始まりました!!

令和 5 年度の ICT 教育特別講座が始まりました。この講座は、来年 4 月から教壇に立つ予定の 4 年生を対象に実施されるものです。講座は、学校現場で活用することができる実践的な内容を主としています。

初日は算数と理科の講座が開催されました。アプリの操作体験や授業への効果的活用を検討するなど、学校現場での ICT 機器の利用について学びを深める機会となりました。

算数



理科



2023 年 10 月 26 日

倉陵祭（学園祭）にてゼミのイベントを開催します

倉陵祭にて、教育学部のゼミのイベントを開催します。どうぞ、皆様の参加をお待ちしています。

特別支援教育工学ゼミ

ちいさいおともだちのためのプログラミングきょうしつ & 皇學館中学校未来理工部 U-16 プログラミングコンテスト in 三重のための特別教室 （711 教室）

保健体育科教育学ゼミ

日頃取りくんでいる課題を 2 年生・3 年生が発表します （741 教室）

音楽教育ゼミ

ビートルズを知ろう！ （743 教室）

社会科教育学ゼミ

ブロックづくりで考える SDGs （745 教室）

※発表日時はゼミにより異なります。 詳細は [倉陵祭パンフレット](#) でご確認ください。

また、学園祭 1 日目の 10 月 28 日（土）の 10:00 からは、オープンキャンパスも開催されます。詳細は [こちら](#) 。

2023 年 10 月 24 日

子どもの秋キャンプを神島で実施：体育方法学ゼミ

伊勢の子どもを対象とした 4 シーズンキャンプを開催していますが、秋キャンプとして 10 月 21-22 日に神島でキャンプを行ってきました。神島小中学校と連携しながら、神島の子どもたち 6 人と交流することも目的としてのキャンプとなりました。21 日は神島の子どもたちの案内で島内を一周しました。神島は三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台であり、島内を一周するとその舞台が分かるようになっていきます。その後、子どもたちと遊んだり、夕飯を一緒に作り、みんなで楽しくいただきました。お風呂も神島の子どもたちと一緒に入り、大騒ぎになりました。2 日目も午前中に交流会を行い、帰りの船を神島の子どもたちは手を振って見送り、駆け出しながら手を振り、防波堤まで走ってきて手を振り続けてくれました。神島の女の子は振り返りでこう言いました。「またあそびにきてください」と。伊勢から参加した子どもたちは帰りの船内でずっと神島を見つめていました。伊勢の子どもたちも、参加した学生も、私たちも、何かをもらったように思います。そんなキャンプでした。



2023 年 10 月 17 日

社会科教育研究部会の開催：社会科教育学ゼミ

10 月 14 日に社会科教育研究部会を開催しました。今回は、第 1 部として四日市市シティプロモーション部文化課の石田智洋先生に、「旧四郷村役場の魅力発信 四日市の近代産業の礎を築いた 5 世伊藤小左衛門、9 世伊藤伝七」という題で、ご講演をいただきました。社会科地域学習の教材研究における新たな視点を教えていただきました。

また、第 2 部として、四日市市立常磐西小学校の田中美有先生から総合的な学習の時間におけるエネルギー環境教育の模擬授業をしていただきました。学生たちは高校生に戻ったような気持ちで手を挙げて発言したり、隣同士で相談したり、自分の意見を黒板に書いていました。現場の先生の授業を受けることで、子どもたちに対する指導の仕方や、子どもの発言に対する応答の仕方など、多くのことを学ぶことができました。



2023 年 10 月 17 日

「伊勢市環境フェア」への参加：社会科教育学ゼミ

10 月 9 日に「令和 5 年度伊勢市環境フェア」に参加しました。今年は「みんなで脱炭素社会をめざそう！」をテーマに、多くの団体や企業が環境に関わる出展を行いました。

社会科教育学ゼミでは、「ブロックで作ってみよう脱炭素社会」というテーマで、子どもたちがブロック遊びを通して、地球に優しい未来の車や家、誰でも楽しめる環境に優しい公園などを考えていくコーナーを作りました。

100 名以上の子どもたちや保護者の方にご参加いただきました。学生も子どもと一緒にブロックを組み立てながら、楽しそうに未来の地球について考える姿が見られました。将来教員になったときに、どのように子どもたちと共に学んでいくのかを考える貴重な機会となったと思います。



2023 年 10 月 16 日

インクルーシブスポーツ学習・交流会に参加して：家庭科教育ゼミ

10 月 15 日（日）に、小俣三重電子スマイルアリーナ小俣で開催された伊勢市教育委員会主催第 2 回インクルーシブスポーツフェスタに学生 27 名がインクルーシブスポーツを学習し、参加者の方々と交流を図る企画に参加しました。インクルーシブスポーツフェスタの広報・企画立案・運営は C L L 活動の学生が実施してきました。始めに会場設営を皆で行い、その後 CLL 活動の学生に競技の方法を実践を交えながら教えてもらいました。学生は一つ一つの競技の難しさに四苦八苦しながら、自分たちがどのように障がいを持った方たちを支援すればよいかについて考え、協議しました。フェスタが始まると学生たちは参加者がより楽しめるよう励ましの声援やゲームのコツを伝える支援を行い、“盛り上げ役”を担っていました。終盤には、鈴木英敬衆議院議員と山本さち子参議院議員も参加されて車椅子バスケットボール競技を実践され、その後も参加者や学生たちと交流を楽しめました。終了後、参加した事業所の支援員の先生や介護職員の方々、ダウン症児の保護者の方と交流をして今回の事業についての感想を聞くと、口を揃えたように「各コーナーの学生の支援が無かったら、本人たちは楽しめなかった」ということばをいただきました。また CLL の学生が考えた 6 つの競技が、インクルーシブすなわち障害を持った方も健常者もともに同じように実践できる内容だったのでよかったという声も多く聞かれました。このように、インクルーシブスポーツフェスタに参加してそれまでインクルーシブスポーツということばは知っているが実際どのようなものかについて、体験し、参加者の様子や声から学べる非常によい機会になりました。



2023 年 10 月 16 日

学生のボランティア活動：FC. ISE-SHIMA 皇學館大学カップ

本学のサッカー部にはとても多くの教育学部生（キャプテン、副キャプテンは教育学部学生です）が所属しています。10月14日・15日に伊勢フットボールヴィレッジにて、FC. ISE-SHIMAさんとサッカー部合同の大会（FC. ISE-SHIMA 皇學館大学カップ）が開催され、たくさんの教育学部生が運営協力をしてくれるということで、取材に行ってきました。普段プレーヤーをしている学生は、審判をしたり、FC.ISE-SHIMAの小学生チームのコーチ・監督をしたり、マネージャーはちびっこの相手（兄弟姉妹がサッカーしている保護者は、普段ゆっくりと子どもがサッカーするところを観戦・応援できません。子守をしながらサッカーの観戦・応援をするのは大変なので、子どもの面倒を見てくれるのはありがたい。今日はゆっくりと子どものサッカーの応援ができましたとの感想をいただいたようです）をしたり、サッカーをするだけでなく、支える仕事に携わっていました。今、日本サッカー協会ではサッカーをするだけでなく、サッカーだけでなくスポーツをする人たちを支えること（マネジメント）の大切さを伝えようとしているそうです。教育学部の学生は、この2日間で授業・座学だけでは学べない、スポーツマネジメントについて学べたようです。FC. ISE-SHIMA アカデミーのInstagramにも学生の活動の様子が掲載されています。FC. ISE-SHIMA アカデミーのInstagramは[こちら](#)



大会受付をする学生



表彰式で記念品を渡す学生



中学生選手の試合のレフェリーをする学生



小学生チームの監督・コーチをする学生



ちびっこの子守をする学生



ちびっこの子守をする学生



小学生選手と練習する学生



小学生選手に教える学生

2023 年 10 月 13 日

学習塾で出前授業&各界で活躍する人たちを迎えての懇談会:道徳教育ゼミ

学習塾で出前授業

道徳教育ゼミでは毎年 3 年ゼミ生が、一人ずつ学習塾に出向き、道徳の授業を行っています。名づけて「偉人プレゼン」。学生が自分で選んだ古今東西の偉人のお話を塾の子供たちに語り聴かせるというもの。偉人の生き方を通して、学習の意義や志を立てることの大切さを子供たちに伝えるとともに、自身の授業の経験値も向上させています。



各界で活躍する人たちを迎えての懇談会

「教員は世間が狭い」と言われることがあります。この企画は、様々な分野で活躍されている方々をお迎えして、ゼミ生たちに少しでも視野を広げてもらおうという趣旨で開催しています。これまでに、企業経営者、自衛隊員、タクシー運転手、警察官（刑事）、弁護士といった方々と懇談を行ってきました。今回は、画家・挿絵家の中村麻美さんにお越し頂き、中村さんのライフワークである国史絵画をはじめとした作品を鑑賞し合いながら、道徳教育や生き方について交流することができました。



2023 年 10 月 10 日

三重の食を楽しむ会：家庭科教育ゼミ

10 月 8 日（日）曜日に、フレンテ三重の生活工房でみえ食文化研究会とコラボする形で「三重の食を楽しむ会」を開催しました。学生はゼミに入りたての 2 年生を中心に、3 年生、4 年生も参加して 60 名の参加者と、「てこね寿司」「伊勢茶マドレーヌ」「青さみそ汁」「鈴鹿豚のナムル」「伊勢うどん」そして、水出し伊勢茶および伊勢茶で作った抹茶を和気あいあいと料理したり、試食したりして交流の時間を持ちました。学生たちは下準備から調理補助、そして参加者との交流と密度の濃い時間を過ごしました。試食中には三重漁連の上地様から三重の漁業の実態について講義を聴き、さらには企画の広報をみて参加された山本さち子参議院議員からも特に県内だけでなく日本の国の農業の現状について話を聴くことができました。特に山本議員とは、試食会後も自由にお話を聴く機会が得られ、日ごろ社会のできごとに少し疎い面がある学生たちも、目を輝かせてその話に聴き入っていました。

さまざまな一般の方が参加する事業は初めてでしたが、学生たちは明るく、楽しく、きびきびと動き、彼らははたらきにより皆さんから笑顔があふれる時間を創り出すことができました。

みえ食文化研究会とは、みえの食文化を振興していくために、県内に伝わる食文化を調査・研究し、その伝承や活用を図りながら普及、情報発信などをしていく組織として「みえ食文化研究会」が三重大学教育学部成田美代教授、大川学園元理事長大川吉崇両氏（いづれも当時の役職）を発起人にして平成 10 年に立ち上がりました。

今回は、三重の豊かな食材を利用して料理を作り、三重の食文化とその振興、その他参加者の日頃のさまざまな思いを食を介して気軽に語り合う会を開催しました。



2023 年 9 月 29 日

体育実技(野外活動)の夏実習が終了

9 月 12 日～14 日に体育実技(野外活動)の夏実習が行われました。体育実技(野外活動)は令和 5 年度から開講された科目で、1 年生を対象とした講義です。夏と冬の実習があることから 100 名を超える履修志望者を 20 名に絞っての開講になりました。12 日は元青少年教育振興機構専門職員の岡野こころ先生により、野外活動の意義、リスクマネジメントの考え方の講義を受け、13 日は古市街道散策ウォーク、14 日は宮川の支流である一之瀬川での川遊び、大学での野外炊飯とキャンプファイヤーを実施しました。

＜古市街道散策ウォーク＞



＜一之瀬川での川遊び＞



＜野外炊飯とキャンプファイヤー＞



2023 年 9 月 28 日

数学教育ゼミ学生が日本科学教育学会年会で学会発表をしました

令和 5 年 9 月 18 日（月・祝）～20 日（水）に愛媛大学城北キャンパス（共通教育棟 A・グリーンホール）で開催された第 47 回日本科学教育学会年會（主催：一般社団法人日本科学教育学会）へ参加した。今年は「産官学民が協働する科学教育の新展開」という年會テーマのもと学会が行われた。広く科学教育にわたるテーマで多くの発表があった。20 日（水）には「教育実践・科学授業開発 9」の分科会にて、教育学部 4 年水谷一心が「カレンダーの数学Ⅱ（上野祐一との共同研究）」の発表を行った。発表後は数学に関する質問だけでなく、様々な分野の視点から質問をいただき、とても有意義のある協議の時間となった。また、参加した学生の感想は以下の通りである。

・学会に出席したことは、今回が初めてでした。そのため、学会というものがどういうものなのか、雰囲気を感じたことなど、すごく良い体験ができました。また、大学の先生の専門的な意見や論文に対する考え方を聞くことができ、良い勉強になりました。特に、オーストラリア、ケアンズの日本人学校的环境学習についての発表が印象的でした。昨今、SDGs や地球温暖化などの環境問題が学校現場で取り上げられるようになっていきます。このような情勢の中で、どのようにすれば子どもたちが環境について興味を持つようになるのか、考えなければいけないと思いました。ケアンズの学校では、ウミガメを取り上げていたようですが、日本で環境学習を行う場合には、その地域に合った動物を用いることで子どもたちが自分事として環境問題に取り組めるようになるのではないかと考えました。また、普段の大学の授業で先生方がよくおっしゃっている教科横断的な学びを組み込んでいくことの重要性や効果もよく感じることができました。

・研究というのは、結果が出るからこそ課題が見つかる循環が発生するものだと感じました。福井大学の風間寛司先生の研究発表では、福井県にある「絵付算額」を用いて、小中学生に向けた授業実践を行い、算額への興味関心を引き出すことに繋がったように私自身発表を聞き感じました。

・今回、初めて学会という場で発表をさせていただきました。初めての経験だったのでとても緊張しました。発表では、緊張もしましたが質疑応答まで丁寧に行うことができたことは良かったのではないかと思います。また、私の研究に対し、他の大学の先生方に興味を持てただけことは、とても嬉しく思いました。その中で、文化的な意味を通して理科教育と関連させることができるなど、教科横断的な見方をすることができることを知り、私の発表内容をさらに深める事ができると感じました。課題として、達成目標の設定などが挙げいただいたので、今後、考察していこうと思います。



健康科学研究室では、今年度、FC. ISE-SHIMA のホームゲーム開催日（東海社会人サッカーリーグ 1 部）に、研究室の学生が中心となって、スポーツや健康に関するクイズを 10 問作成・出題し、サポーター（観客）を対象にしたクイズイベントに協力しました。毎試合ごとのクイズ最高成績者と年間の最高成績者には FC. ISE-SHIMA から景品が送られました。学生が考えたクイズをいくつか紹介します。皆さんはいくつ正解できるかな？

●サッカーを日本語にするとどれ？

①蹴球 ②野球 ③箒球 ④排球

●日本人成人の 1 日の平均的な座位時間はどのくらい？

①3 時間 ②5 時間 ③7 時間 ④9 時間

●夏季オリンピックで、中止になったことがないのは次のうちどこ？（正解は 1 つ）

①アテネ ②ロンドン ③ベルリン ④東京

●大人の試合で、野球、サッカー、ラグビーの 3 試合が同時に行われています。プレーヤー（先発メンバー）は全部で何人でしょう？

①20 人 ②30 人 ③35 人 ④70 人

●大人の骨の数はおよそ何個でしょう？ちなみに、赤ちゃんの骨の数は、およそ 350 個とされています。

①150 個 ②200 個 ③350 個 ④500 個

●脳の中に入っている身体の一部はどこ？（なぞなぞです）

①爪（つめ） ②顎（あご） ③鼻（はな） ④口（くち）

●次のうち、一番高さが低いものはどれ？

①サッカーゴール（成人・一般用） ②陸上競技の高跳びの世界記録

③体操競技の鉄棒の高さ ④バスケットボールのゴールのリング（成人・一般用）

●世界保健機関（WHO）のマークに描かれている動物は何？

①亀 ②鶴 ③鳩 ④蛇

●テニスの 4 大会の 1 つである全英オープン・ウィンブルドン大会の優勝トロフィーのてっぺんには、ある果物の装飾があります。どんな果物？

①りんご ②レモン ③オレンジ ④パイナップル

●人間ひとりの血管の長さはどのくらい？

①400m ②42.195km ③日本列島 1 周くらい（およそ 12,000km） ④地球 2.5 周くらい（およそ 100,000km）

●ビタミンの父、海軍カレー生みの親、日本疫学の父などと言われている人は誰？

①高木兼寛 ②佐藤泰然 ③北里柴三郎 ④福沢諭吉

●人間のふくらはぎにある筋肉の名前は？

①マクロ筋 ②ヒラメ筋 ③サワラ筋 ④マダイ

●陸上競技 100m 走の世界記録で走った時、そのスピードは時速何キロメートル？

①時速 30km ②時速 37km ③時速 45km ④時速 51km

●相撲の土俵の中に埋められているものは何？

①昆布 ②まわし ③タイムカプセル ④ちゃんこ鍋の鍋

●阪神甲子園球場の名前の由来は？

①完成時の 1924 年が縁起の良い甲子年（きのえのとし）だったから ②甲子園という公園の中に造ったから

③甲子園という地域に造ったから。地名をつけた ④「どんな名前にする？」「こうせえへん？」→「こうしえん」というダジャレから

2023 年 8 月 1 日

1 年生クラス会

本学では年に数回、クラス会として、授業とは別に学年全員が集まる機会を学部・学科ごとに設けています。2023 年 7 月 20 日(木)には教育学部 1 年生約 230 人が集まり、大学での学修や大学生活についてふりかえりました。その後、学級委員の企画によるレクリエーションが開催され、謎解きウォークラリーで楽しみました。



2023 年 7 月 26 日

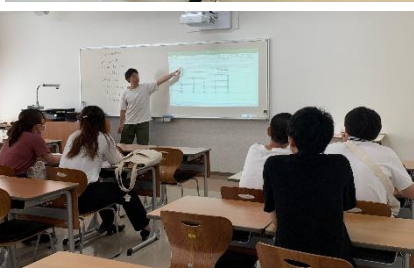
オープンキャンパス情報 (2023 年 8 月 10・11 日開催)

2023 年 8 月 10・11 日 (日) のオープンキャンパスのプログラムが、本学ホームページ ([こちら](#)) にて公開されています。たくさんのご来場、お待ちしております。

2023 年 7 月 10 日

教育学部エキスポ 2023 の様子

2023 年 7 月 9 日 (日) にオープンキャンパスにて、教育学部エキスポ 2023 を開催しました。その様子をご覧ください。来場してくれた高校生は、大学生が普段どんな研究活動やゼミ活動をしているのか、真剣に見学してくれていました。またゼミ所属前の大学 2 年生も、ゼミ選択の参考のために、たくさん来場してくれたようです。本学教育学部は他の大学よりも早い時期 (2 年生の前期) に所属するゼミを決め、2 年生後期から各ゼミに分かれて専門的な学びをしています。



2023 年 7 月 6 日

教員採用試験に向けた対策講座を実施

6 月 19 日に教員採用試験に向けたリスニング対策講座が実施されました。講師は本学の豊住先生が務められ、参加学生は対話の穴埋めやリスニング問題に取り組みました。一次試験や二次試験について勉強のポイントやメモの取り方など具体的なポイントが示され、参加した学生からは教員採用試験の出題レベルを知ることができた、講座を通じて自分自身リスニングの力を認識することができたなどの感想があり、貴重な機会となったようです。



6 月 23 日は三重県の教員採用試験 2 次面接の新たな変更点を踏まえ、サポート教員が手本となり模擬授業を実施、またその後の話し合いを行いました。教室は参加学生で満席となり立見席ができるほどに。少しでも実力を付けて試験に臨みたいといった学生の熱意がひしひしと伝わる勉強会でした。



2023 年 6 月 22 日

オープンキャンパス情報（2023 年 7 月 9 日開催）&教育学部エキスポ 2023

2023 年 7 月 9 日（日）にオープンキャンパスが開催されます（詳細は[本学ホームページ](#)まで）。また、このオープンキャンパスでは「教育学部エキスポ 2023」も開催されます。教育学部の各研究室での研究活動やゼミ活動、各種研究部会の活動、出前講座などの様子をご覧ください。詳細は[こちら](#)。

2023 年 6 月 16 日

学生の活躍

2023 年 6 月 11・12 日に秋田県で開催された、第 39 回 U20 日本陸上競技選手権大会・混成競技（男子 10 種競技）にて、教育学部 1 年生の中川陽司さんが、第 3 位に入賞しました。

2023 年 5 月 22 日

オープンキャンパス情報（2023 年 6 月 11 日開催）

2023 年 6 月 11 日（日）のオープンキャンパスのプログラムが、[本学ホームページ](#)（[☞こちら](#)）にて公開されています。たくさんのご来場、お待ちしております。

2023 年 5 月 1 日

小学校教員を学生の勉強会「つばさ」を開催

4 月 21 日、28 日に小学校教員をめざす学生の勉強会「つばさ」が開催されました。学生による模擬授業や教員採用試験に向けた集団討論の練習など、学生リーダーが中心となり勉強会を進行します。学生による模擬授業は、2 年生算数「水のかさをしらべよう」、5 年生理科「ヒトの誕生」、6 年生社会「国際連合と日本の役割」を題材に行われました。模擬授業後はサポート教員の萩原先生から実施した学生一人ひとりに丁寧なアドバイスがなされ、参加者は皆熱心に耳を傾けていました。



2023 年 4 月 27 日

初年次ゼミ

4 月 15 日（土）に初年次ゼミをおこないました。初年次ゼミは、将来の夢や目標を現実のものとするために、キャリアについて考え、仲間と共に学ぶことを実感することを目指す 1 年生の科目です。この日は土曜日に関わらず、4 時間かけて、「図書館ガイダンス」「体力測定」「神宮を知る」「大学の学び」の 4 つの活動、学習を行いました。



「神宮を知る」の様子



「大学の学び」の様子



「体力測定」の様子



「図書館ガイダンス」の様子 1



「図書館ガイダンス」の様子 2

2023 年 4 月 4 日

入学式

本日は入学式でした。230 人の新しい教育学部生が加わりました。桜の花も、何とかこの日まで耐えて、新入生を出迎えてくれました。

